

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全施設等整備事業（電線共同溝整備）				
地区名	一般県道 岡崎幸田線（明大寺本町工区）				
事業箇所	岡崎市明大寺本町～明大寺町				
事業のあらまし	<p>一般県道岡崎幸田線の当該箇所は、岡崎市の中央に位置する名鉄東岡崎駅から、JR岡崎駅を結ぶ道路区間に位置し、古くから電車通りの通称で賑わっている。</p> <p>当該工区は、三島小学校の通学路となっていることから、特にラッシュ時に自転車と歩行者が交錯することがあり危険な状態である。このため、電線共同溝を整備することにより、市の中心部としてふさわしい景観整備を図るとともに、災害時には岡崎警察署と県事務所を結ぶ重要路線であり、防災性向上を図るものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H21)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H21～H28	H21～H33	—	
	事業費（億円）	4.8	4.8	—	
	経費内訳	工事費	4.3	4.3	—
		用補費	—	—	—
		その他	0.5	0.5	—
事業内容	電線共同溝整備 延長：400m 幅員：22.5m 車線数：4	同左	—		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部を南北に結ぶ主要な路線であり、交通量は、24,320台/日、混雑度は1.14（H17道路交通センサス結果）となっている。 ・三島小学校の通学路となっているほか、沿線付近には竜海中学校や愛知教育大学附属岡崎中学校があり、自転車の交通量も多いため、自転車と歩行者が交錯することがある。 ・当該箇所北端から北側及び東側は電線地中化が実施済みであり、市中心部としてふさわしい景観整備も必要である。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺状況に変化はなく、市中心部の主要な路線としての位置づけは変わらない。 ・交通量は、23,542台/日、混雑度は0.54（H22道路交通センサス結果）となっている。 <p>【変動要因の分析】</p> <p>変動要因は特にない。</p>			
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		

		<p>【理由】</p> <p>通学路などの周辺状況や交通状況に大きな変動はなく、自転車及び歩行者の安全確保及び景観整備の必要性に大きな変化はみられない。</p>																																																																																																																										
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="10">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="5">←————→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="6">3.6</td> <td colspan="2">1.2</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="6">0.5</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="6">0.5</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="5">4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.4</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.6</td> <td>0.5</td> <td>14%</td> <td>4.8</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>3.1</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>4.3</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>100%</td> <td>0.5</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>特になし</p>			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	工種	調査・設計	←————→													工事									←————→					事業費(億円)	当初計画	3.6						1.2							実績	0.5													今回計画	0.5								4.3						これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.3	0.0	0%	0.4	0%	事業費(億円)	3.6	0.5	14%	4.8	10%	工事費	3.1	0.0	0%	4.3	0%	その他	0.5	0.5	100%	0.5	100%
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33																																																																																																													
	工種	調査・設計	←————→																																																																																																																									
		工事									←————→																																																																																																																	
	事業費(億円)	当初計画	3.6						1.2																																																																																																																			
		実績	0.5																																																																																																																									
		今回計画	0.5								4.3																																																																																																																	
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																							
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																						
	延長(km)	0.3	0.0	0%	0.4	0%																																																																																																																						
事業費(億円)	3.6	0.5	14%	4.8	10%																																																																																																																							
工事費	3.1	0.0	0%	4.3	0%																																																																																																																							
その他	0.5	0.5	100%	0.5	100%																																																																																																																							
2) 未着手又は長期化の理由	<p>事業区間が岡崎市の中心部であり、各電線管理者及び他の地下埋設管が多いことから、埋設位置や地上機器の位置等の調整に時間を要しているため、事業が長期化している。</p>																																																																																																																											
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>長期化の原因であった、各電線管理者及び地下埋設管管理者との調整は概ね完了し、平成29年度より工事着手できる見込みとなっている。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>事業費ベースでは、10%の進捗率であるが、平成29年度より工事着手し、平成33年度に事業完了する見込みである。</p>																																																																																																																											
判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ⊙これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																											
	<p>【理由】</p> <p>各電線管理者及び公安委員会との調整が概ね完了し、平成33年度の事業完了が見込まれる。</p>																																																																																																																											

Ⅲ 対応方針	
継続	<p>中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事实施前後の交通状況（事故発生状況）の変化と自転車及び歩行者の安全性の変化 	